

平成 30 年北海道胆振東部地震に伴う岩手県応援本部の対応状況

平成 30 年 9 月 10 日 (月) 16 時 00 分現在
岩手県総務部総合防災室 防災危機管理担当
電話 019(629)5166

下線部は前回からの変更点

9 月 6 日 (木) 3 時 8 分頃に北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度 7 の地震が発生したことに伴い、4 時 00 分に岩手県応援本部を設置しました。

9 月 10 日 (月) 16 時 00 分現在の対応状況については、次のとおりです。

1 地震の状況

- (1) 震源地：北海道胆振地方中東部
- (2) マグニチュード：6.7 (暫定値)
- (3) 震源の深さ：約 37 k m (暫定値)
- (4) 津波の心配はなし

2 政府、北海道等の対応

- (1) 政 府：6 日 3 時 9 分に首相官邸対策室設置 (室長 内閣危機管理監)
- (2) 消防庁：9 月 6 日 3 時 8 分に災害対策本部設置 (本部長 消防庁長官)
- (3) 北海道：6 日 3 時 9 分に災害対策本部設置 (本部長 北海道知事)
- (4) 青森県：9 日 9 時に広域応援調整本部設置

3 被害状況 (9 月 10 日 10 時 00 分現在 北海道総務部危機対策局消防庁調べ)

- (1) 人的被害
 - ア 死者 40 名
 - イ 重傷者 9 名、中等傷 9 名、軽傷者 626 名
- (2) 物的被害
 - 全壊 32 棟、半壊 18 棟、一部破損 10 棟
- (3) 避難所・避難者
 - 避難所 11 市町、76 箇所、避難者数 2,716 名
- (4) インフラ
 - ア 停電 道内 403 戸
 - イ 水道 断水 5 市町
 - ウ 鉄道 運行再開 (一部運休)
 - エ 道路 通行止め 11 路線 14 区間 (国道、道道)
 - オ 空港 国内線運航再開 (一部欠航)、国際線は通常運航
 - カ 港湾 フェリー通常運行

4 本県への影響

- (1) 人的被害：北海道から岩手県に対する応援職員 3 名全員の家族について無事であることを確認した
- (2) インフラ：花巻空港新千歳空港間は通常運航

5 本県の対応

(1) 岩手県応援本部の設置

ア 本地震に係る応援本部を年9月6日4時00分に設置

イ 応援本部連絡調整会議

9月6日	7時10分	応援本部事務局会議を実施
	8時00分	連絡調整主要部局会議を実施
	17時15分	第1回連絡調整全体会議を実施
9月7日	17時30分	第2回連絡調整全体会議を実施
<u>9月10日</u>	<u>16時00分</u>	<u>第3回連絡調整全体会議を実施</u>

(2) これまでの対応状況

9月6日	消防庁から県に対し緊急消防援助隊の出動要請があり、本県防災航空隊の隊員7名及び県内5消防本部から17隊62人が出動 現地連絡員（リエゾン）として総合防災室職員3名が北海道に向け出発 厚生労働省からDMAT（災害派遣医療チーム）及びDMATロジスティックチームに対する派遣要請があり、本県DMATチームが北海道に向け出発 厚生労働省からDPAT（災害派遣精神医療チーム）に対する派遣要請あり
9月7日	DMATチーム及び事務員等がフェリーで北海道に出発 DPAT（災害派遣精神医療チーム）がフェリーで北海道に出発 緊急消防援助隊に花巻消防本部1隊3名がフェリーで北海道に出動
9月8日	沿岸広域振興局職員（3名）がフェリーで北海道に向け出発 岩手県警察特別交通部隊（16名）がフェリーで北海道に向け出動 岩手県警察広域緊急援助隊警備部隊（19名）が北海道に向け出動。翌日8時宮古発のフェリーで出航 広域応援本部を青森県庁に設置するため、事務局要員の派遣要請あり 青森県から応急危険度判定士及び保健師の派遣可能数について調査依頼あり 防災航空隊（ひめかみ）が体制縮小のため一時帰投
9月9日	現地連絡員（リエゾン）は安平町にて活動 沿岸広域振興局職員は支援物資を持参し、胆振総合振興局にて活動 青森県が広域応援本部を設置。青森県を通じて、安平町に対し、避難所運営アドバイス要員の派遣要請あり。青森県へは10日より事務局要員1名を派遣
<u>9月10日</u>	<u>緊急消防援助隊岩手部隊が6時任務解除</u> <u>避難所運営に関するニーズ調査、運営アドバイス等を行うため、保健福祉部職員（2名）がフェリーで北海道に出発</u> <u>北海道・東北8道県広域応援本部設置に伴い、総合防災室職員職員（1名）を連絡調整員として青森県庁に派遣</u> <u>県が安平町に向けて支援物資（食料、日用品等）をトラックにより八戸港からフェリーで搬送予定</u>

(3) 緊急消防援助隊の活動状況

ア 防災航空隊（ひめかみ）

9月6日6時10分に花巻空港を離陸し、8時38分丘珠空港に到着。災害対策本部の指揮下で同日10時40分から安平町、厚真町で救助捜索活動を実施

9月7日午前中、要請があった場合の救助活動及び地上部隊の人員搬送を実施。午後には雨天のため

め待機

9月8日17時20分防災ヘリ全体の体制縮小に伴い、花巻空港に一時帰投し待機

9月9日20時任務解除

イ 陸上部隊（県内5消防本部）

9月6日17隊62名が宮古港に集結し、宮古港8時35分発のフェリーにて室蘭港に向け出港し、同日18時24分に到着

9月7日厚真町において、救助、消火小隊、指揮隊、救急小隊に分かれて検索活動等を活動
緊急消防援助隊に花巻消防本部1隊3名が追加派遣。22時八戸港発のフェリーで出港

9月8日及び9日厚真町において、救助、消火小隊、指揮隊、救急小隊に分かれて検索活動等を活動

9月10日6時任務解除し、20時に室蘭港出港し、帰県の予定

(4) 岩手DPATチーム（災害派遣精神医療チーム）の活動状況

9月6日11時30分厚生労働省からDPATに対する派遣があり、先遣隊が9月7日2時40分発の青森発のフェリーで北海道に出発

9月7日2時30分北海道庁設置の北海道DPAT調整本部及び厚真地域において活動（被災情報の更新と支援、避難所活動開始に当たっての体制整備、避難所等の精神保健医療ニーズへの対応等）

(5) 岩手DMATチーム（災害派遣医療チーム）の活動状況

9月6日14時18分厚生労働省からDMATに対する派遣要請があり、同日22時25分青森発のフェリーでロジスティックチーム、中部、大船渡チームが出発

9月7日2時40分青森発のフェリーで中央、日赤、宮古チームが出発。同日8時宮古発のフェリーで医大及び事務員等が出発

市立苫小牧病院を参集拠点とし現地統括DMATの指示より、本部支援、避難所巡回、搬送支援活動等を実施

9月8日中央、大船渡、宮古、中部、日赤チーム及び9月9日岩手医大チームが活動終了
岩手医大ロジスティックチームは9月9日から12日の期間で順次活動を終了予定

(6) 現地連絡員（リエゾン）の活動状況

9月6日10時30分現地連絡員（リエゾン）として、総務部総合防災室職員3名が青森県庁に向け出発。情報収集後、北海道庁に向け転進

9月7日12時10分安平町役場に到着し、被害状況を把握。同日17時道庁で総務省及び各県リエゾンとの調整会議に参加

沿岸広域振興局から職員3名の追加派遣を決定。9月8日支援物資を帯同し、宮古港発8時のフェリーで出発

9月8日9時道庁において北海道、総務省、各県リエゾンによる情報交換会議を開催。10時から厚真町及び安平町を調査し19時から同庁において情報交換会議を開催

9月9日8時30分道庁において北海道、総務省、各県リエゾン、関西広域連合により情報交換会議を開催。会議後、安平町で活動（北海道の危機対策支援員と連携）

記録・通信要員2名は9月11日、管理監は9月12日で交代の予定

9月10日9時50分北海道・東北8道県広域応援本部の現地連絡員として派遣した総合防災室職員1名が青森県庁入り

(7) 岩手県警察特別交通部隊の活動状況

9月8日17時広域緊急援助隊警備部隊(19名)が出動。9日8時宮古発のフェリーで出航
同日19時40分特別交通部隊(16名車両8台)が仙台港発のフェリーで北海道に向け出動

特別生活安全部隊(8名車両3台)が避難所支援のため9月11日に八戸港発のフェリーで北海道
に向け出動予定

(8) 避難所運営アドバイス要員

9月10日避難所運営に関するニーズ調査、運営アドバイス等を行うため、保健福祉部職員(2名)
が宮古港からフェリーで北海道に出発

6 広域応援

- (1) 「大規模災害時等の北海道・東北8道県相互応援に関する協定」に基づく北海道への応援調整道県は青森県
- (2) 北海道・東北ブロックのカバー圏は関東圏
- (3) 青森県が北海道から応援要請を受け、同時刻に青森県が広域応援調整本部を設置
岩手県からは青森県に現地連絡要員1名(総合防災室職員)を派遣
- (4) 全国知事会の動き：災害対策都道府県連絡本部を9月6日5時30分設置し、情報収集中

7 その他

(1) 支援物資の状況

9月9日、安平町に対し物資支援(アレルギー対応食、おかゆ等、除菌シート、歯磨きセット、マ
ウスウォッシュ)を行うことを決定。9月10日に物資を積み込み、八戸港から苫小牧へ搬送予定

(2) 関係機関の対応状況

ア 自衛隊

- ・ 陸上自衛隊岩手駐屯地

9月7日第2施設団14名が重機等を帯同し出動

- ・ 航空自衛隊山田分屯基地

9月6日第2航空団(1名)が機能強化のため出動

9月8日第2航空団(3名)が機能強化のため出動

イ 岩手河川国道事務所

9月6日緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)が出動

(3) 市町村の対応状況

ア 宮古市

室蘭市からの要請により、発動発電機(7機)、アルファ米(2,000食)飲料水(30箱)、缶詰(1,080食)、ランタン(10個)、カセットボンベ(100本)毛布(一箱)を9月7日8時発のフェリーにて送付

イ 奥州市

姉妹都市である厚真町と長沼町に対し支援体制を構築し支援について協議